

2016年2月に神奈川県葉山町の湘南国際村センターで行われた「第7回21世紀ミュージアム・サミット」を書籍化。

まちと ミュージアムが 織りなす 文化

過去から未来へ

高階秀爾・建畠哲・水沢勉・蓑豊 編

ミュージアムは過去を守るものではなく、未来に向かって新たな美や心の豊かさや地域のあり方を提示し続けるものである。

公益財団法人かながわ国際交流財団 前理事長 福原義春



基調講演

ラス・ニッティヴ / 香港M+前館長

“発電所としてのミュージアム”



李龍雨 / 上海ヒマラヤ美術館館長

“ソーシャルメディアとしての視覚文化の「場」”



A5版／並製／244頁

定価：2,000円＋税

初版発行日：2017年9月30日

ISBN 978-4-7738-1723-2

企画・編集：公益財団法人かながわ国際交流財団

発行：現代企画室 www.jca.apc.org/gendai/

内容についてのお問い合わせ先

かながわ国際交流財団 湘南国際村学術研究センター
〒240-0198 神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-39
Tel: 046-855-1822 Fax: 046858-1210
E-mail: msummit@kifjp.org

公益財団法人かながわ国際交流財団は・・・神奈川県内で国際交流・協力を推進する中核組織として1977年に設立されました。「多様性を尊重する“かながわ”の人づくり・地域づくり」を重点目標として活動しています。詳しくは、<http://www.kifjp.org>をご覧ください。

全国書店にて発売中

※裏面申込書を用いて直接ご購入いただくこともできます。詳しくは裏面をご覧ください。

[主要目次]

*所属等はミュージアム・サミット開催時のもの

- はじめに | 高橋忠生 (かながわ国際交流財団理事長)
開催趣旨説明 | 蓑豊 (兵庫県立美術館館長)

第1部 | 歴史軸から見たミュージアムと地域社会

- 基調講演 | 「都市の再生と文化の役割」
発電所としてのミュージアム ラース・ニッティヴ (香港M+前館長)
ソーシャルメディアとしての視覚文化の「場」 李龍雨 (上海ヒマラヤ美術館館長)
- 講演 | 大原美術館と倉敷 高階秀爾 (大原美術館館長)
神奈川県立近代美術館と鎌倉-三つの奇跡をめぐる 水沢勉 (神奈川県立近代美術館館長)
100人で語り合った「ワールド・カフェ」
ファシリテーターのコメント 安部沙耶香 (平塚市美術館学芸員)・塚田美紀 (世田谷美術館主任学芸員)
写真レポート - もし私のまちに美術館がなかったら
写真でふりかえる「第7回21世紀ミュージアム・サミット」

第2部 | 地域に根付く文化のプラットフォーム

- 基調報告 | 「2020東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラム」 太下義之 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング芸術・文化政策センター長)
「オリンピック・パラリンピックの文化プログラムと地域の動き」 青木保 (国立新美術館館長) × 建畠哲 (埼玉県立近代美術館館長)
- 4つの
事例報告 | 「まちとミュージアムが織りなす文化」
① BEPPU PROJECTについて 山出淳也 (NPO法人BEPPU PROJECT代表理事、アーティスト)
② アート×産業×コミュニティ 街が創造的になる場 中村政人 (アーティスト、アーツ千代田3331総括ディレクター)
③ あいちトリエンナーレ 拝戸雅彦 (あいちトリエンナーレ2016チーフ・キュレーター)
④ アーツ前橋と地域の関わり 住友文彦 (アーツ前橋館長)
まちとアートプロジェクト-4つの事例を聞いて 高階秀爾
- パネル
ディスカッション | 「地域における文化的協働が活性化するには」
ファシリテーター: 藤浩志 (十和田市現代美術館館長)
パネリスト: 安部沙耶香、清水有 (せんだいメディアテーク学芸員)、塚田美紀、遊免寛子 (兵庫県立美術館学芸員)、
山出淳也、中村政人、拝戸雅彦、住友文彦

第3部 | ミュージアム・サミットから未来へのメッセージはどこに向かう

- 総括討論 | まちとミュージアムの開かれた関係に向けて
ファシリテーター: 水沢勉 パネリスト: 青木保、高階秀爾、建畠哲、蓑豊
- 特別寄稿 | 21世紀ミュージアム・サミットが目指したもの 福原義春 (かながわ国際交流財団前理事長)
- 番外編 | これまでの21世紀ミュージアム・サミット 第1回からのミュージアム・サミットの歩み!
- コラム | 今後のミュージアムのあるべき未来像
稲庭彩和子、井上昌之、岩瀬潤子、植木浩、栗原祐司、小松弥生、佐々木秀彦、鷺田清一、ラース・ニッティヴ

公益財団法人かながわ国際交流財団では、21世紀ミュージアム・サミットの成果を活かし、定住外国人や障がいのある方々の美術館へのアクセシビリティを向上させるため、新規プロジェクト「マルパ (MULPA: Museum UnLearning Program for All/みんなで“まなびほぐす”美術館-社会を包む教育普及事業-)」を神奈川をフィールドに2016年度より開始しております。詳しくは、<http://www.kifjp.org/mulpa>をご覧ください。

書籍購入申込書

送り先: 現代企画室 Fax: 03-3461-5083 e-mail: gendai@jca.apc.org

以下にご記入のうえ本紙をファックスで送るか、以下の内容をご記入のうえ件名を「ミュージアム・サミット書籍申込」としてメールにてお申し込みください。ご注文された書籍に請求書と郵便振替用紙を同封して発送しますので、書籍到着後、1週間以内にお近くの郵便局からお支払いください。送料はいただきません (発送元負担)。

第7回21世紀ミュージアム・サミットの記録『まちとミュージアムが織りなす文化 過去から未来へ』 (定価2,000円+税)	_____冊
第6回21世紀ミュージアム・サミットの記録『ミュージアムが社会を変える 文化による新しいコミュニティ創り』 (定価2,000円+税)	_____冊
第5回21世紀ミュージアム・サミットの記録『地域に生きるミュージアム 100人で語るミュージアムの未来II』 (定価2,000円+税)	_____冊
お届け先 〒	連絡先 Tel: e-mail:
お名前	ご請求先 (お届け先と異なる場合ご記入ください)